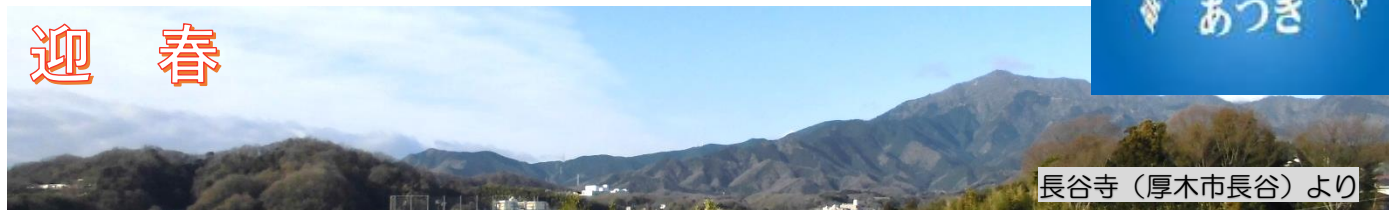




迎春



長谷寺（厚木市長谷）より

令和3年 1月号 Vol.201
(2021年)

発行：令和3年 1月 16日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

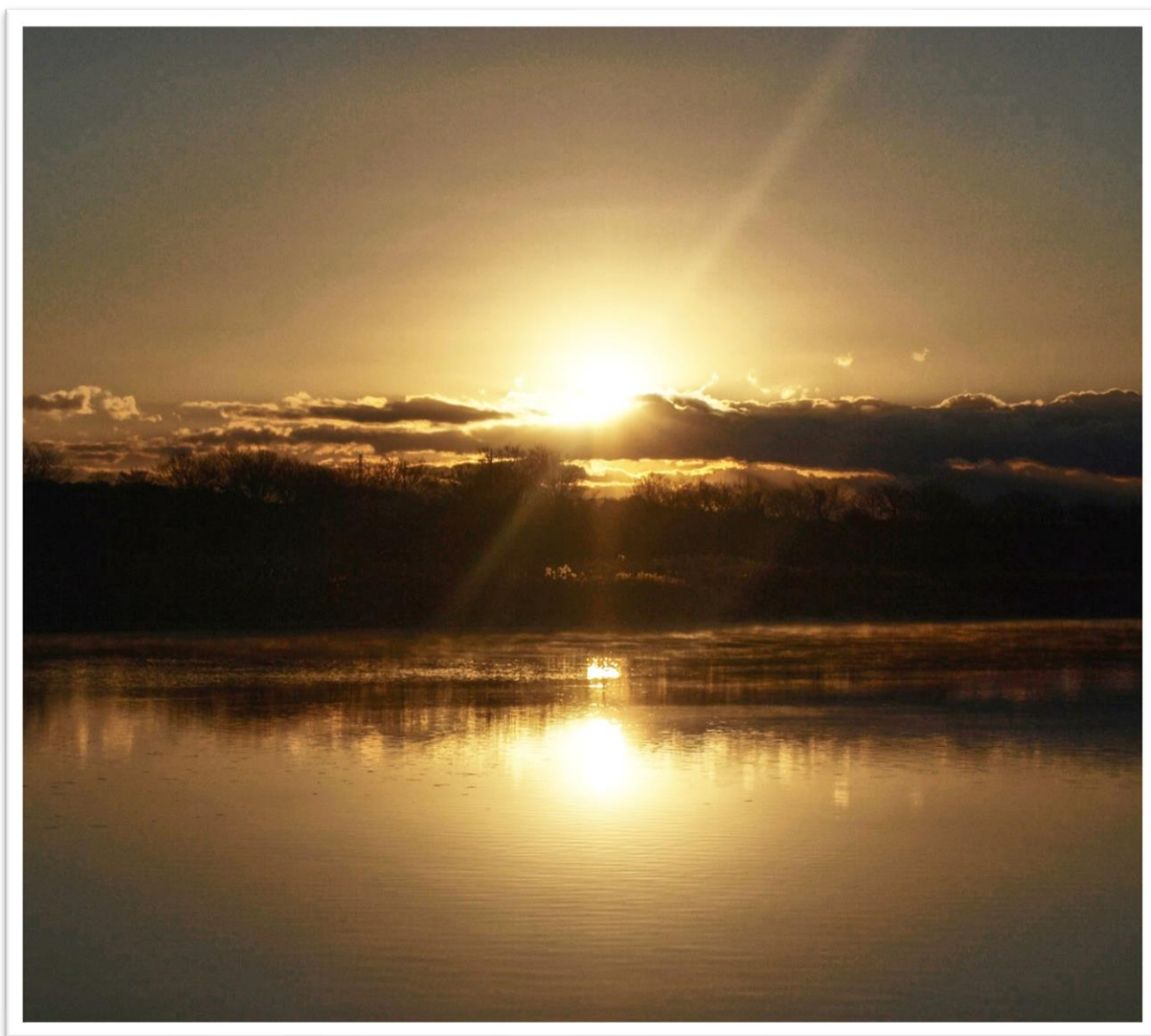
ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 阿部 啓冊

新年おめでとうございます。

座架依橋から相模川に映る日の出を撮りました。



朝日が昇り気温が上がり始めると、相模川に朝霧が立ち水鳥が飛び交っていました。緊急事態宣言から始まった2021年ですが、早く収束し、いつも通りの活動ができるようになると良いですね。



会員投稿
 ≪浮世絵を楽しむ≫

阿部 啓冊

平成31年1月にあつぎ郷土博物館が開館したとき、最初の特別展は浮世絵をテーマに「浮世絵の世界」が開催され、昨年暮れには馬の博物館（根岸）や県立歴史博物館（桜木町）でも浮世絵展があり、秦野市立図書館では常設展が開催されているなど浮世絵の人気は衰えることがないようです。

浮世絵は「その時代を映し出した絵」のため美術品としてだけではなく、当時の生活を知るためにも大いに参考になります。そこで、今回は浮世絵でこんなことを見つけたという内容を少し書かせていただきます。



江戸時代の女性は家に閉じこもっていたと思われがちですが意外とそうでもなかったようです。上の浮世絵は、お正月の書初め風景を描いたもので、女性が子供たちに字を教えている様子がわかります。左の絵には浮世絵を作成している様子が描かれており、下絵、彫り、摺りなどの作業に女性が活躍しています。

正月の江戸城を描いた「諸侯初登城図」を見るとお供の武士は素足にわらじ履き、袴の裾を膝上までからげ脛むき出しの姿と寒そうです。肩衣の裾は前で交差させて帯に挟み込んで前に垂らしていたことがわかります。

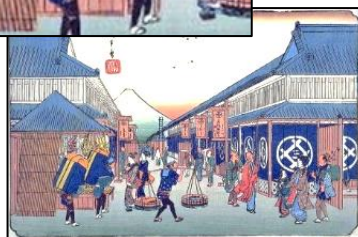


左の浮世絵に描かれた馬に乗った旅人をよく見ると、馬の背中に載せた荷物を椅子のように利用して座っています。このような乗り方であれば、女性も馬を利用して旅行ができたと思います。

馬に乗る方法は、武士のように跨るだけではなく、この絵のように荷物の上に座る方法もあったようです。

歌川広重の日本橋を描いた浮世絵（次頁掲載）には高札場の様子が描かれています。奥には火の見櫓が見えており、自身番ではないかと思えます。自身番屋は、不審人物が町内に入り込むことを防止するための見張り場所で維持費は町内の有力者たちが分担し、火の見櫓が設けられ、人別帳の管理や奉行所からの伝達事項を受け取り町内に知らせ、集会所としても使われていまし

た。当初は江戸の各町内の有力者自身が交代で詰めていたので自身番と呼びますが、のちの時代になると代理人を雇うようになりました。



左の浮世絵には越後屋の大きな店構えの左に木戸番小屋が描かれています。町内の人たちが費用を出し合って管理する木戸は防犯のために設けられ、夕方に閉じ、朝になると開けられていました。番小屋には木戸の開閉当番となった人がおり、わらじ、日用雑貨や子供たちの駄菓子などを売っていました。木戸番は木戸の開閉だけではなく夜回りなども担当していたようです。

ちなみに、辻番所は大名が設けた見張り場所で不審者の監視や大名の住む地域の警備巡回を行っていました。当初は大名・武家が直接運営していましたが、のちに町人に任せられるようになります。

広重の「東海道五十三次」には弥次さん喜多さんが登場しているという方がいました。改めて眺めてみると確かに度々二人づれの男性が登場し、客引きに腕や首を抑えられて苦勞している姿や、お茶屋で一休みしている姿が描かれています。興味のある方は探してみてください。



左は喜多川歌麿の美人画「高名美人六家選」の一枚です。絵の左上に別枠で挿絵があり、「菜が二把、矢、沖や田の広がる景色」が描かれています。これは判じ絵で「な・にわ・や・おき・た」となり「難波屋おきた」と読みます。難波屋おきたは当時人気の女性で、幾度も歌麿のモデルになっています。

高名美人六家選シリーズでは、ほかの絵も同じように判じ絵をつけて描いた女性を紹介しています。

外出も思うままにはできない時期ですが、浮世絵は一人でも見ていることができます。意外な発見があると思いますのでお試しください。

最近の活動

日 時	場 所	内 容	参 加 者
12月12日	保健福祉センター	定例会・勉強会	会員 18名
1月 9日	アミューあつぎ	役員会	会員 8名
1月16日（土）の定例会・勉強会は中止となりました			

令和3年1月・2月 行事予定

	日 時	行 事	会場・場所	内 容	申 込 先
2 月	2月6日（土） 役員会は中止となりました				
	13日（土） 10:00～12:50	定例会・勉強会	保健福祉 センター	—————	サークルスクエア
	19日（金） 09:50～15:00	かながわガイド協議会 幹部研修会	小田原	新型コロナ対応 他	—————

お願い 行事予定が決まりましたら、阿部あてメールでご連絡下さい。
提出期限は定例会の1週間前（編集会議と印刷のため）

編 集 後 記

いよいよ新しい年となりましたが、相変わらずのコロナ禍で好スタートとはいきませんでした。とはいえながらも新しい発見もありました。

巻頭の写真は長谷寺（厚木市長谷）から見える大山と岩田山の風景です。厚木に住んでいながら二つの山がこのような場所があることに気が付きませんでした。沈む太陽を背景にした景色は見飽きることのないもので、お正月は本堂の前に座り夕日を眺めながらご住職とお話を楽しみました。

皆さまも新しい発見をぜひ教えてください

編集委員 阿部 啓冊 澤田 正弘 前澤 宣子